令和５年度　国語科 第１学年年間指導計画 和田　祥子

「教材名・指導目標・言語活動」欄の記号は、「◎指導事項　★言語活動　▼主体的に学習に取り組む態度」を表す

月	教材名・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
4月	朝のリレー ◎（知・技(1)ア） ▼（主体的に学習に取り組む態度）	1	1 詩を通読する。 2 詩を読んで想像したことや，好きな言葉や表現を交流する。 3 詩の特徴を生かして音読する。 ★谷川俊太郎―杉並区在住の詩人	【知・技】音声の働きや仕組みについて，理解を深めている。（(1)ア） 【態】音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め，小学校での学習を生かして音読しようとしている。
言葉に出会うために				
4月	言葉に出会うために 野原はうたう ◎（知・技(1)ア） ▼（主体的に学習に取り組む態度）	1	1 国語で何を学ぶのかを考える。 2「野原はうたう」の二つの詩を通読する。 3 速さ，声の強弱，間の取り方，言葉の調子，声の高さを変えて音読する。 4 学習を振り返る。	【知・技】音声の働きや仕組みについて，理解を深めている。（(1)ア） 【態】音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め，小学校での学習を生かして音読しようとしている。
4月	声を届ける 書き留める 言葉を調べる 続けてみよう ◎（知・技(1)ア） ◎（知・技(2)イ） ◎（知・技(3)オ） ◎（思・判・表B(1)ア） ▼（主体的に学習に取り組む態度）	4	1 音読・発表のしかたを理解する。 2 ノートの書き方，工夫のしかたを理解する。 3 辞典・事典で言葉を調べる方法を理解する。 4「言葉の手帳」を作る。 5 学習を振り返る。	【知・技】音声の働きや仕組みについて，理解を深めている。（(1)ア） 【態】音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め，小学校での学習を生かして声を届けようとしている。 【知・技】 ・比較や分類，関係づけなどの情報の整理のしかた，引用のしかたや出典の示し方について理解を深め，それらを使っている。（(2)イ） ・読書が，知識や情報を得たり，自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。（(3)オ） 【思・判・表】「書くこと」において，目的や意図に応じて，日常生活の中から題材を決め，集めた材料を整理し，伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 【態】進んで日常生活の中から題材を決め，これまでの学習を生かして「言葉の手帳」を作ろうとしている。
1　学びをひらく				
5月	シンシュン ◎（知・技(1)ウ） ◎（思・判・表C(1)イ） ▼（主体的に学習に取り組む態度） ★（思・判・表C(2)イ）	4	1 作品を通読する。 2 作品の全体像を捉える。 3 場面の展開に沿って，二人の関係の変化を整理する。 4 読み深めた感想を交流する。（学習③） 5 学習を振り返る。	【知・技】事象や行為，心情を表す語句の量を増すとともに，語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。（(1)ウ） 【思・判・表】「読むこと」において，場面の展開や登場人物の相互関係，心情の変化などについて，描写を基に捉えている。（C(1)イ） 【態】場面の展開について，描写を基に積極的に捉え，学習課題に沿って感想を交流しようとしている。
5月	［聞く］ 情報を的確に聞き取る ◎（知・技(2)イ） ◎（思・判・表A(1)ア）	1	1 情報を的確に聞き取る必要がある場面を挙げる。 2 ①の連絡を聞き，メモを取る。 3 効果的なメモの取り方を確かめる。	【知・技】比較や分類，関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め，それらを使っている。（(2)イ） 【思・判・表】

月	教材名・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	◎（思・判・表A(1)エ） ▼（主体的に学習に取り組む態度） ★（思・判・表A(2)ア）		4 ②の連絡を聞き，メモを取る。 5 学習を振り返る。	・「話すこと・聞くこと」において，目的や場面に応じて，日常生活の中から話題を決め，集めた材料を整理し，伝え合う内容を検討している。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において，必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え，共通点や相違点などを踏まえて，自分の考えをまとめている。(A(1)エ) 【態】進んで記録したり質問したりしながら話の内容を捉え，学習課題に沿ってメモを取ろうとしている。
5月	季節のしおり　春 ・(知・技(1)ウ) ▼（主体的に学習に取り組む態度）	1	・桜にまつわる言葉や，春の情景を詠んだ歌詞や詩，短歌，俳句を味わい，伝統的な言語文化に親しむ。	【知・技】事象や行為，心情を表す語句の量を増すとともに，語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)ウ) 【態】伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして，積極的に語感を磨き，言語文化を大切にしようとしている。
5月	情報整理のレッスン 比較・分類 ◎（知・技(2)イ） ▼（主体的に学習に取り組む態度）	1	1 学習の目的を理解する。 2 情報を比較・分類する方法を確かめる。 3 問題1～2に取り組む。 4 学習を振り返る。	【知・技】比較や分類，関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め，それらを使っている。（(2)イ） 【態】学習課題に沿って，積極的に情報の整理のしかたについて理解を深め，それらを使おうとしている。
5月	情報を整理して書こう わかりやすく説明する ◎（知・技(2)イ） ◎（思・判・表B(1)ア） ▼（主体的に学習に取り組む態度） ★（思・判・表B(2)ア）	4	1 目的や相手を明確にして題材を決める。 2 情報を集め，整理する。 3 構成を考える。 4 下書きをし，文章にまとめる。 5 学習を振り返る。	【知・技】比較や分類，関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め，それらを使っている。（(2)イ） 【思・判・表】「書くこと」において，目的や意図に応じて，日常生活の中から題材を決め，集めた材料を整理し，伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 【態】集めた材料を粘り強く整理し，学習の見通しをもってわかりやすく説明しようとしている。
5月	漢字１　漢字の組み立てと部首 漢字に親しもう１ ◎（知・技(1)イ） ▼（主体的に学習に取り組む態度）	1	1 導入部分を読み，漢字の組み立てに興味をもつ。 2 偏旁冠脚について理解する。 3 部首の種類について理解する。 4 漢和辞典を利用して，練習問題に取り組む。 5 P40「漢字に親しもう１」の問題に取り組む。	【知・技】小学校学習指導要領第２章第１節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え，その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また，学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き，文や文章の中で使っている。((1)イ) 【態】学習課題に沿って，積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
２　新しい視点で				
6月	ダイコンは大きな根？ ◎（知・技(2)イ） ◎（思・判・表C(1)） ▼（主体的に学習に取り組む態度） ★（思・判・表C(2)ア）	2	1 本文を読する。 2 文章の中心的な部分を捉える。 3 段落の役割について考える。(学習②) 4 考えたことを発表し合う。(学習③) 5 学習を振り返る。	【知・技】比較や分類，関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め，それらを使っている。（(2)イ） 【思・判・表】「読むこと」において，文章の中心的な部分と付加的な部分，事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え，要旨を把握している。(C(1)ア) 【態】文章の中心的な部分と付加的な部分について積極的に捉え，学習課題に沿って筆者の工夫を伝え合おうとしている。
6月	ちょっと立ち止まって ◎（知・技(2)ア）	3	1 本文を通読する。 2 文章の構成に着目し，要旨を捉える。	【知・技】原因と結果，意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。（(2)ア）

月	教材名・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	◎（思・判・表C(1)ア） ▼（主体的に学習に取り組む態度） ★（思・判・表C(2)ア）		3 文章の構成に着目し，その効果を考える。 4 考えたことを伝え合う。（学習③） 5 学習を振り返る。	【思・判・表】「読むこと」において，文章の中心的な部分と付加的な部分，事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え，要旨を把握している。(C(1)ア) 【態】進んで要旨を把握し，学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。
6月	思考のレッスン１ 意見と根拠 ◎（知・技(2)ア） ▼（主体的に学習に取り組む態度）	1	1 P52上段の導入の文章を読み，意見の根拠を確認することの大切さを理解する。 2 説得力のある根拠について考える。 3 意見と根拠の結び付きを考える。 4 学習を振り返る。	【知・技】原因と結果，意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。（(2)ア） 【態】学習課題に沿って，積極的に意見と根拠の関係について理解しようとしている。
6月	話の構成を工夫しよう 好きなことをスピーチで紹介する ◎（知・技(1)ア） ◎（思・判・表A(1)ア） ◎（思・判・表A(1)イ） ▼（主体的に学習に取り組む態度） ★（思・判・表A(2)ア）	4	1 話題を決め，材料を選ぶ。 2 話の構成を考える。 3 スピーチの練習をする。 4 スピーチの会を開く。 5 学習を振り返る。	【知・技】音声の働きや仕組みについて，理解を深めている。（(1)ア） 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において，目的や場面に応じて，日常生活の中から話題を決め，集めた材料を整理し，伝え合う内容を検討している。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において，自分の考えや根拠が明確になるように，話の中心的な部分と付加的な部分，事実と意見との関係などに注意して，話の構成を考えている。(A(1)イ) 【態】話の構成を粘り強く考え，学習の見通しをもってスピーチをしようとしている。
6月	漢字に親しもう２ ◎（知・技(1)イ） ▼（主体的に学習に取り組む態度）	1	1 新出漢字を確認する。 2 練習問題に取り組む。	【知・技】小学校学習指導要領第２章第１節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え，その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また，学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き，文や文章の中で使っている。（(1)イ） 【態】学習課題に沿って，積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
6月	文法への扉１ 言葉のまとまりを考えよう ◎（知・技(1)エ） ▼（主体的に学習に取り組む態度）	2	1 P59の導入や教材文を読み，言葉のまとまりについて考える。 2 P238-241文法1「言葉の単位」を読む。	【知・技】単語の類別について理解している。（(1)エ） 【態】単語の類別を理解するために，今までの学習を生かして，積極的にその前提となる言葉の単位について理解しようとしている。
情報社会を生きる				
6月	情報を集めよう 情報を読み取ろう 情報を引用しよう ◎（知・技(2)イ） ◎（思・判・表B(1)ア） ◎（思・判・表C(1)ウ） ▼（主体的に学習に取り組む態度） ★（思・判・表B(2)ア） ★（思・判・表C(2)ウ）	3	1 調べる内容を絞り込む 2 調べ方を考え，情報を集める 3 情報を読み取る 4 情報の適切な引用のしかたを考える。 5 著作権について知る。 ・著作権の定義や，著作者の許可が必要ない場合について確認する。 6 学習を振り返る。	【知・技】比較や分類，関係づけなどの情報の整理のしかた，引用のしかたや出典の示し方について理解を深め，それらを使っている。（(2)イ） 【思・判・表】 ・「書くこと」において，目的や意図に応じて，日常生活の中から題材を決め，集めた材料を整理し，伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ・「読むこと」において，目的に応じて必要な情報に着目して要約し，内容を解釈している。(C(1)ウ) 【態】引用のしかたや出典の示し方について積極的に理解を深め，学習課題に沿ってそれらを使おうとしている。
３　言葉に立ち止まる				

月	教材名・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
7月	詩の世界 ［書く］詩を作ろう ◎（知・技(1)ウ） ◎（知・技(1)オ） ◎（思・判・表C(1)エ） ◎（思・判・表B(1)ウ） ▼（主体的に学習に取り組む態度） ★（思・判・表C(2)イ） ★（思・判・表B(2)ウ）	3	1 作品を音読する。 2 詩を読んで，感じたことを交流する。 3 描かれた情景や表現の効果について話し合う。 4 詩のよさを発表する。(学習③) 5 三編の詩の表現を参考にして，詩を作る。 6 学習を振り返る。 ★谷川俊太郎―杉並区在住の詩人	【知・技】 ・事象や行為，心情を表す語句の量を増すとともに，語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 （(1)ウ） ・比喩，反復，倒置，体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。（(1)オ） 【思・判・表】 ・「読むこと」において，文章の構成や展開，表現の効果について，根拠を明確にして考えている。 （C(1)エ） ・「書くこと」において，根拠を明確にしながら，自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) 【態】文章の構成や展開，表現の効果について積極的に考え，学習の見通しをもって詩を創作しようとしている。
7月	比喩で広がる言葉の世界 ◎（知・技(1)オ） ◎（思・判・表C(1)ア） ▼（主体的に学習に取り組む態度） ★（思・判・表C(2)ア）	2	1 本文を通読する。 2 段落の役割を押さえて読み，内容を捉える。 3 言葉について考える。 4 学習を振り返る。	【知・技】比喩などの表現の技法を理解し使っている。 （(1)オ） 【思・判・表】「読むこと」において，文章の中心的な部分と付加的な部分，事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え，要旨を把握している。(C(1)ア) 【態】進んで要旨を把握し，学習課題に沿って言葉について考えを深めようとしている。
7月	言葉１ 指示する語句と接続する語句 ◎（知・技(1)エ） ▼（主体的に学習に取り組む態度）	2	1 導入の課題に取り組み，指示する語句や接続する語句について関心をもつ。 2 指示する語句について理解する。 3 接続する語句について理解する。 4 学習したことを日常につなぐ。	【知・技】指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。（(1)エ） 【態】今までの学習を生かして，積極的に指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めようとしている。
7月	言葉を集めよう もっと「伝わる」表現を目ざして ◎（知・技(1)ウ） ▼（主体的に学習に取り組む態度）	1	1 学習の目的を理解する。 2 友達に紹介したいものを決める。 3 観点を決めて，言葉を集める。 4 100字程度で紹介文を書く。 5 学習を振り返る。	【知・技】事象や行為，心情を表す語句の量を増すとともに，語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。（(1)ウ） 【態】今までの学習を生かして，積極的に事象や行為，心情を表す語句の量を増すとともに，話や文章の中で使おうとしている。
読書生活を豊かに				
7月	読書を楽しむ ◎（知・技(3)オ） ▼（主体的に学習に取り組む態度）	1	1 教材文を通読し，さまざまな読書活動を知る。 2「ポップ作り」，「読書掲示板」，「読書記録」の中から，夏休みに行う活動を選ぶ。 3 活動の内容に沿って，見通しを立てる。 4 ポップ，読書掲示板用の感想，読書記録を提出する。	【知・技】読書が，知識や情報を得たり，自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。 （(3)オ） 【態】読書が，知識や情報を得たり，自分の考えを広げたりすることに役立つことを進んで理解し，今までの学習を生かして本の魅力や感想を伝え合おうとしている。

月	教材名・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
7月	本の中の中学生 あと少し，もう少し 西の魔女が死んだ ブラインドの向こうに見える光 読書案内　本の世界を広げよう 読書コラム　本との出会い ◎（知・技(3)オ） ◎（思・判・表C(1)オ） ▼（主体的に学習に取り組む態度） ★（思・判・表C(2)ウ）	1	1「本の中の中学生」の三編の作品を読む。 2 学校図書館などを利用して，「本の中の中学生」というテーマで一冊選び，推薦文を書く。 ★読書コラム―宮崎駿　杉並区立大宮中学校の卒業生	【知・技】読書が，知識や情報を得たり，自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。（(3)オ） 【思・判・表】「読むこと」において，文章を読んで理解したことに基づいて，自分の考えを確かなものにしている。(C(1)オ) 【態】文章を読んで理解したことに基づいて，積極的に自分の考えを確かなものにし，学習課題に沿って本を読んで考えたことを伝え合おうとしている。
7月	季節のしおり　夏 ・(知・技(1)ウ) ▼（主体的に学習に取り組む態度）	1	・風にまつわる言葉や夏の情景を詠んだ詩，俳句を味わい，伝統的な言語文化に親しむ。	【知・技】事象や行為，心情を表す語句の量を増すとともに，語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)ウ) 【態】伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして，積極的に語感を磨き，言語文化を大切にしようとしている。
4　心の動き				
9月	大人になれなかった弟たちに…… ◎（知・技(3)オ） ◎（思・判・表C(1)イ） ▼（主体的に学習に取り組む態度） ★（思・判・表C(2)イ）	4	1 作品を通読する。 2 描写に着目して登場人物の心情を捉える。 3 題名のもつ意味について考える。(学習②) 4 表記に込められた，作者の意図を考える。 5 思いを伝える朗読会をする。(学習③) 6 学習を振り返る。	【知・技】読書が，知識や情報を得たり，自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。（(3)オ） 【思・判・表】「読むこと」において，場面の展開や登場人物の相互関係，心情の変化などについて，描写を基に捉えている。(C(1)イ) 【態】登場人物の相互関係，心情の変化などについて，描写を基に積極的に捉え，学習の見通しをもって朗読しようとしている。
9月	星の花が降るころに ◎（知・技(1) オ） ◎（思・判・表C(1)ウ） ▼（主体的に学習に取り組む態度） ★（思・判・表C(2)イ）	5	1 作品を通読する。 2「私」を中心に作品の内容を押さえる。 3 場面や描写を結び付けて読む。(学習②) 4 印象に残った場面や描写を語り合う。(学習③) 5 学習を振り返る。	【知・技】比喩，反復，倒置，体言止めなどの表現の技法を理解している。((1)オ) 【思・判・表】「読むこと」において，場面と場面，場面と描写などを結び付けたりして，内容を解釈している。(C(1)ウ) 【態】進んで場面と場面，場面と描写などを結び付けて，内容を解釈し，学習の見通しをもって考えを伝え合おうとしている。
9月	聞き上手になろう 質問で話を引き出す ◎（知・技(1)ア） ◎（思・判・表A(1)エ） ▼（主体的に学習に取り組む態度） ★（思・判・表A(2)ア）	1	1 きき方の工夫や質問の種類を知る。 2「夏休みのいちばんの思い出」をテーマに，対話の練習をする。 3 学習を振り返る。	【知・技】音声の働きや仕組みについて，理解を深めている。（(1)ア） 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において，必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え，共通点や相違点などを踏まえて，自分の考えをまとめている。（A(1)エ） 【態】進んで記録したり質問したりしながら，話の内容を捉え，今までの学習を生かして話を引き出そうとしている。
9月	項目を立てて書こう 案内文を書く ◎（知・技(2)イ） ◎（思・判・表B(1)ア） ▼（主体的に学習に取り組む態	2	1 案内文の書き方を確かめる。 2 案内する事柄と相手を決め，情報を整理する。 3 案内文を作成する。 4 学習を振り返る。	【知・技】比較や分類，関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め，それらを使っている。（(2)イ） 【思・判・表】「書くこと」において，目的や意図に応じて，日常生活の中から題材を決め，集めた材料

月	教材名・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	度) ★（思・判・表B(2)イ）			を整理し，伝えたいことを明確にしている。（B(1)ア） 【態】集めた材料を積極的に整理し，学習課題に沿って案内文を書こうとしている。
9月	［推敲］読み手の立場に立つ ◎（知・技(1)ウ） ◎（思・判・表B(1)エ） ▼（主体的に学習に取り組む態度） ★（思・判・表B(2)イ）	1	1 読み手の立場に立って，案内文を推敲する。 2 書きかえた案内文について，伝えようとする内容が正確に，わかりやすく書き表されているか，友達と話し合う。 3 学習を振り返る。	【知・技】事象や行為，心情を表す語句の量を増すとともに，語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)ウ) 【思・判・表】「書くこと」において，読み手の立場に立って，表記や語句の用法，叙述のしかたなどを確かめて，文章を整えている。(B(1)エ) 【態】粘り強く文章を整え，学習課題に沿って案内文を推敲しようとしている。
10月	言葉２　方言と共通語 ◎（知・技(3)ウ） ▼（主体的に学習に取り組む態度）	2	1 導入の課題に取り組み，地域による言葉の違いについて関心をもつ。 2 教材文を読み，方言と共通語の違いを理解する。 3 P122「生活に生かす」を読み，方言と共通語のそれぞれの役割や特徴について理解する。	【知・技】共通語と方言の果たす役割について理解している。((3)ウ) 【態】今までの学習を生かして，積極的に共通語と方言の果たす役割について理解しようとしている。
10月	漢字２　漢字の音訓 ◎（知・技(1)イ） ▼（主体的に学習に取り組む態度）	1	1 導入部分を読み，漢字の読みには「音」と「訓」があることを理解する。 2「音」と「訓」の歴史や性質を理解する。 3 漢和辞典を利用して，練習問題に取り組む。	【知・技】小学校学習指導要領第２章第１節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え，その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また，学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き，文や文章の中で使っている。（(1)イ） 【態】学習課題に沿って，積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
5　筋道を立てて				
10月	「言葉」をもつ鳥，シジュウカラ ◎（知・技(2)ア） ◎（思・判・表C(1)エ） ▼（主体的に学習に取り組む態度） ★（思・判・表C(2)ア）	4	1 本文を通読する。 2 文章の構成と内容を捉える。 3 論の展開に着目し，その効果を考える。 4 結論に説得力をもたせるために，どのような工夫をしているか，本文の記述や図表などを根拠として，自分の考えを文章にまとめる。（学習③） 5 学習を振り返る。	【知・技】原因と結果，意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) 【思・判・表】「読むこと」において，文章の構成や展開について，根拠を明確にして考えている。(C(1)エ) 【態】文章の構成や展開について粘り強く考え，学習の見通しをもって考えたことを文章にまとめようとしている。
10月	思考のレッスン２ 原因と結果 ◎（知・技(2)ア） ▼（主体的に学習に取り組む態度）	1	1 P136の例題や問題1から，原因と結果を抜き出し，どのようにつながっているかを整理する。 2 P137の例題や問題2から，原因と結果のつながりに無理がある例を確かめ，パターン別に整理する。 3 学習を振り返る。	【知・技】原因と結果，意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) 【態】今までの学習を生かして，積極的に原因と結果の関係について理解しようとしている。
10月	根拠を示して説明しよう 資料を引用してレポートを書く ◎（知・技(2)イ） ◎（思・判・表B(1)イ） ◎（思・判・表B(1)ウ） ▼（主体的に学習に取り組む態度） ★（思・判・表B(2)ア）	5	1 課題を決め，調査を行う。 2 調査結果を整理し，構成を考える。 3 図表などを引用してレポートを作成する。 4 レポートを読み，評価し合う。 5 学習を振り返る。	【知・技】比較や分類，関係づけなどの情報の整理のしかた，引用のしかたや出典の示し方について理解を深め，それらを使っている。((2)イ) 【思・判・表】 ・「書くこと」において，書く内容の中心が明確になるように，段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。(B(1)イ) ・「書くこと」において，根拠を明確にしながら，自分の考えが伝わる文章になるように工夫してい

月	教材名・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
				る。(B(1)ウ) 【態】文章の構成や展開を粘り強く考え，学習の見通しをもってレポートを作成しようとしている。
10月	漢字に親しもう３ ◎（知・技(1)イ） ▼（主体的に学習に取り組む態度）	1	1 新出漢字を確認する。 2 練習問題に取り組む。	【知・技】小学校学習指導要領第２章第１節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え，その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また，学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き，文や文章の中で使っている。((1)イ) 【態】学習課題に沿って，積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
10月	［話し合い］ 話し合いの展開を捉える ◎（知・技(2)ア） ◎（思・判・表A(1)オ） ▼（主体的に学習に取り組む態度） ★（思・判・表A(2)イ）	1	1 教材文を読み，「登山研修の思い出」についての展示内容の話し合いであるという目的を確認する。 2 話し合いの例文を聞き，空欄①②に当てはまる言葉を検討する。 3 学習を振り返る。	【知・技】意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において，話題や展開を捉えながら話し合い，互いの発言を結び付けて考えをまとめている。(A(1)オ) 【態】進んで話題の展開を捉え，学習課題に沿って話し合いにおける発言のしかたについて考えようとしている。
11月	話題や展開を捉えて話し合おう グループ・ディスカッションをする ◎（知・技(2)ア） ◎（思・判・表A(1)オ） ▼（主体的に学習に取り組む態度） ★（思・判・表A(2)イ）	4	1 話し合いの話題を決め，目的を明確にする。 2 自分の考えをまとめる。 3 司会と書記を決め，グループで話し合う。 4 話し合いの結果を報告する。 5 学習を振り返る。	【知・技】意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において，話題や展開を捉えながら話し合い，互いの発言を結び付けて考えをまとめている。(A(1)オ) 【態】積極的に互いの発言を結び付けて考えをまとめ，学習の見通しをもってグループ･ディスカッションをしようとしている。
11月	音読を楽しもう　大阿蘇 ◎（知・技(1)ウ） ◎（思・判・表C(1)エ） ▼（主体的に学習に取り組む態度）	1	1 言葉の響きやリズムを味わいながら朗読する。 ・繰り返しの表現や，繰り返しながら変化していく表現などに注目する。	【知・技】事象や行為，心情を表す語句の量を増すとともに，語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)ウ) 【思・判・表】「読むこと」において，文章の構成や展開，表現の効果について，根拠を明確にして考えている。(C(1)エ) 【態】進んで表現の効果について考え，今までの学習を生かして朗読しようとしている。
11月	季節のしおり　秋 ◎（知・技(1)ウ） ▼（主体的に学習に取り組む態度）	－	・月にまつわる言葉や，秋の情景を詠んだ俳句や和歌，小説の一説を味わい，伝統的な言語文化に親しむ。	【知・技】事象や行為，心情を表す語句の量を増すとともに，語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)ウ) 【態】伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして，積極的に語感を磨き，言語文化を大切にしようとしている。
6　いにしえの心にふれる				
11月	音読を楽しもう　いろは歌 古典の世界 ◎（知・技(3)ア） ◎（知・技(3)イ） ▼（主体的に学習に取り組む態度）	1	1 P154「いろは歌」を音読する。 2 P156「古典の世界」を読み，3年間の古典学習について見通しをもつ。	【知・技】 ・音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り，古文を音読し，古典特有のリズムを通して，古典の世界に親しんでいる。((3)ア) ・古典にはさまざまな種類の作品があることを知っている。((3)イ) 【態】古典にはさまざまな種類の作品があることを積極的に知り，今までの学習を生かして古文を音読しよう

月	教材名・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
				としている。
11月	蓬萊の玉の枝 ――「竹取物語」から ◎（知・技(3)ア） ◎（思・判・表C(1)イ） ▼（主体的に学習に取り組む態度） ★（思・判・表C(2)イ）	4	1 作品を通読する。 2 古典の文章について，現代の文章との違いを確かめる。（学習②） 3 描かれている古典の世界を想像する。（学習③） 4 学習を振り返る。	【知・技】音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り，古文を音読し，古典特有のリズムを通して，古典の世界に親しんでいる。（(3)ア） 【思・判・表】「読むこと」において，場面の展開や登場人物の相互関係，心情の変化などについて，描写を基に捉えている。（C(1)イ） 【態】進んで古文を音読し，学習課題に沿って描かれている古典の世界を想像しようとしている。
11月	今に生きる言葉 ［書く］故事成語を使って体験文を書こう ◎（知・技(3)ア） ◎（思・判・表C(1)オ） ◎（思・判・表B(1)イ） ▼（主体的に学習に取り組む態度） ★（思・判・表C(2)イ） ★（思・判・表B(2)ア）	2	1 漢文を音読し，独特のリズムや言い回しに親しむ。（学習①） 2 本文を読み，故事成語について理解する。 3 故事成語を使って，体験文を書く。（学習③） 4 学習を振り返る。	【知・技】音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り，漢文を音読し，古典特有のリズムを通して，古典の世界に親しんでいる。（(3)ア） 【思・判・表】 ・「読むこと」において，文章を読んで理解したことに基づいて，自分の考えを確かなものにしている。（C(1)オ） ・「書くこと」において，書く内容の中心が明確になるように，段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。（B(1)イ） 【態】積極的に漢文を音読し，今までの学習を生かして故事成語を使った文章を書こうとしている。
7　価値を見いだす				
12月	「不便」の価値を見つめ直す ［書く］根拠を明確にして，意見をまとめよう ◎（知・技(2)ア） ◎（知・技(2)イ） ◎（思・判・表C(1)ウ） ◎（思・判・表C(1)オ） ◎（思・判・表B(1)ウ） ▼（主体的に学習に取り組む態度） ★（思・判・表C(2)ア） ★（思・判・表B(2)ア）	4	1 本文を通読し，内容を捉える。 2 筆者の考えを要約する。 3 根拠を明確にして，意見をまとめる。（学習③） 4 学習を振り返る。	【知・技】 ・原因と結果，意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。（(2)ア） ・比較や分類，関係づけなどの情報の整理のしかた，引用のしかたや出典の示し方について理解を深め，それらを使っている。（(2)イ） 【思・判・表】 ・「読むこと」において，目的に応じて必要な情報に着目して要約し，内容を解釈している。(C(1)ウ) ・「読むこと」において，文章を読んで理解したことに基づいて，自分の考えを確かなものにしている。（C(1)オ） ・「書くこと」において，根拠を明確にしながら，自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。（B(1)ウ） 【態】積極的に必要な情報に着目して要約し，自分の考えを文章にまとめようとしている。
12月	助言を自分の文章に生かそう 作品の書評を書く ◎（知・技(3)オ） ◎（思・判・表B(1)オ） ▼（主体的に学習に取り組む態度） ★（思・判・表B(2)ア）	2	1 作品を選び，内容や魅力を分析する。 2 どの観点から論じるかを決め，書評を書く。 3 友達どうしで書評を読み，助言し合う。 4 学習を振り返る。	【知・技】読書が，知識や情報を得たり，自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。（(3)オ） 【思・判・表】「書くこと」において，根拠の明確さなどについて，読み手からの助言などを踏まえ，自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(B(1)オ) 【態】読み手からの助言などを踏まえ，自分の文章のよい点や改善点を進んで見いだし，学習課題に沿って書評を書き，助言し合おうとしている。
8　自分を見つめる				
1月	少年の日の思い出 ［書く］別の人物の視点から文章を書き換えよう ◎（知・技(1)ウ）	6	1 作品を通読する。 2 作品の展開を捉える。（学習①） 3「僕」の心情の変化をまとめる。 4 別の人物の視点から文章を書き換える。（学	【知・技】語感を磨き語彙を豊かにしている。（(1)ウ） 【思・判・表】 ・「読むこと」において，文章の構成や展開，表現の効果について，根拠を明確にして考え，自分の

月	教材名・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	◎（思・判・表C(1)エ） ◎（思・判・表C(1)オ） ◎（思・判・表B(1)イ）		習③） 5 学習を振り返る。	考えを確かなものにしている。(C(1)エ)（C(1)オ） ・「書くこと」において，書く内容の中心が明確になるように，段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。(B(1)イ) 【態】文章の構成や展開，表現の効果について積極的に考え，学習の見通しをもって別の人物の視点から文章を書き換えようとしている。
1月	漢字に親しもう５ ◎（知・技(1)イ） ▼（主体的に学習に取り組む態度）	1	1 新出漢字を確認する。 2 練習問題に取り組む。	【知・技】小学校学習指導要領第２章第１節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え，その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また，学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き，文や文章の中で使っている。((1)イ) 【態】学習課題に沿って，積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
1月	文法への扉３ 単語の性質を見つけよう ◎（知・技(1)エ） ▼（主体的に学習に取り組む態度）	2	1 P189の例題に取り組み，単語の性質について考える。 2 P247-250文法3「単語の分類」を読み，「自立語と付属語」，「活用の有無」，「品詞」，「体言と用言」について理解する。	【知・技】単語の類別について理解している。((1)エ) 【態】今までの学習を生かして，積極的に単語の類別について理解しようとしている。
1月	随筆二編 ◎（知・技(1)ウ） ◎（思・判・表C(1)ウ） ▼（主体的に学習に取り組む態度） ★（思・判・表C(2)イ）	2	1 作品を通読する。 2 語句や表現の工夫に着目する。(学習①) 3 筆者の考えや思いについて話し合う。(学習②) 4 自分の体験を振り返って伝え合う。(学習③) 5 学習を振り返る。	【知・技】事象や行為，心情を表す語句の量を増すとともに，語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)ウ) 【思・判・表】「読むこと」において，場面と場面，場面と描写などを結び付けて，内容を解釈している。(C(1)ウ) 【態】進んで場面と場面，場面と描写などを結び付けて，内容を解釈し，今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。
2月	構成や描写を工夫して書こう 体験を基に随筆を書く ◎（知・技(1)ウ） ◎（思・判・表B(1)イ） ◎（思・判・表B(1)ウ） ▼（主体的に学習に取り組む態度） ★（思・判・表B(2)ウ）	4	1 随筆の題材を選ぶ。 2 具体的な材料を書き出す。 3 構成を考える。 4 随筆を書く。 5 学習を振り返る。	【知・技】事象や行為，心情を表す語句の量を増すとともに，語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)ウ) 【思・判・表】 ・「書くこと」において，書く内容の中心が明確になるように，段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。(B(1)イ) ・「書くこと」において，根拠を明確にしながら，自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) 【態】粘り強く文章の構成や展開を考え，学習の見通しをもって随筆を書こうとしている。
2月	言葉３　さまざまな表現技法 ◎（知・技(1)オ） ▼（主体的に学習に取り組む態度）	2	1 導入の例を読み，表現による印象の違いを挙げる。 2 P224「言葉の並べ方の工夫」を読み，表現技法によるリズムの違いや効果について考える。 3 P225「比喩」を読み，比喩の種類による印象の違いを考える。	【知・技】比喩，反復，倒置，体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。((1)オ) 【態】積極的に比喩，反復，倒置，体言止めなどの表現の技法を理解し，学習課題に沿ってそれらを使おうとしている。
2月	漢字３　漢字の成り立ち 漢字に親しもう６ ◎（知・技(1)イ）	1	1 漢字の成り立ちについて理解する。 2 漢和辞典を利用して練習問題を解き，漢字の成り立ちを調べ，分類する。	【知・技】小学校学習指導要領第２章第１節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え，その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度まで

月	教材名・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	▼（主体的に学習に取り組む態度）		3 P229「漢字に親しもう６」の問題に取り組む。	の漢字を読んでいる。また，学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き，文や文章の中で使っている。((1)イ) 【態】学習課題に沿って，積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
3月	一年間の学びを振り返ろう 要点をフリップにまとめ，発表する ◎（知・技(1)ア） ◎（知・技(2)イ） ◎（思・判・表A(1)ウ） ◎（思・判・表B(1)ア） ▼（主体的に学習に取り組む態度） ★（思・判・表A(2)ア） ★（思・判・表B(2)ア）	5	1 観点を決め，一年間の学習を振り返る。 2 集めた情報を整理し，発表内容を決める。 3 話の構成を考え，フリップを作る。 4 グループ内で発表する。 5 学習を振り返る。	【知・技】 ・音声の働きや仕組みについて，理解を深めている。((1)ア) ・比較や分類，関係づけなどの情報の整理のしかた，引用のしかたや出典の示し方について理解を深め，それらを使っている。((2)イ) 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において，相手の反応を踏まえながら，自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。(A(1)ウ) ・「書くこと」において，目的や意図に応じて，日常生活の中から題材を決め，集めた材料を整理し，伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 【態】集めた材料を積極的に整理し，今までの学習を生かして要点をフリップにまとめ，発表しようとしている。
3月	さくらの　はなびら ◎（知・技(1)オ） ◎（思・判・表C(1)オ） ▼（主体的に学習に取り組む態度） ★（思・判・表C(2)イ）	1	1 詩を読み，印象に残った表現を発表する。(学習①) 2 三つの表現の意味を考える。(学習②) 3 作者の思いについて語り合おう。(学習③)	【知・技】比喩，反復，倒置，体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。((1)オ) 【思・判・表】「読むこと」において，文章を読んで理解したことに基づいて，自分の考えを確かなものにしている。(C(1)オ) 【態】文章を読んで理解したことに基づいて，積極的に自分の考えを確かなものにし，考えたことを伝え合おうとしている。
振り返り				
3月	学習を振り返ろう ◎（知・技(2)イ） ◎（知・技(3)ウ） ◎（思・判・表C(1)ア） ◎（思・判・表C(1)オ） ◎（思・判・表A(1)ウ） ◎（思・判・表B(1)ウ） ▼（主体的に学習に取り組む態度） ★（思・判・表C(2)ア） ★（思・判・表A(2)ア） ★（思・判・表B(2)ア）	3	1 P260の説明文を読み，学習課題に取り組む。 2 P261の方言に関するスピーチを聞き，学習課題に取り組む。 3 P262の卒業ソングに関する新聞記事を読み，学習課題に取り組む。	【知・技】 ・比較や分類，関係づけなどの情報の整理のしかた，引用のしかたや出典の示し方について理解を深め，それらを使っている。((2)イ) ・共通語と方言の果たす役割について理解している。((3)ウ) 【思・判・表】 ・「読むこと」において，文章の中心的な部分と付加的な部分，事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え，要旨を把握している。(C(1)ア) ・「読むこと」において，文章を読んで理解したことに基づいて，自分の考えを確かなものにしている。(C(1)オ) ・「話すこと・聞くこと」において，相手の反応を踏まえながら，自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。(A(1)ウ) ・「書くこと」において，根拠を明確にしながら，自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) 【態】今までの学習を生かして，それぞれの学習課題に粘り強く取り組もうとしている。